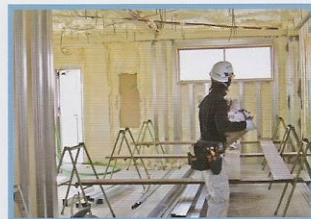
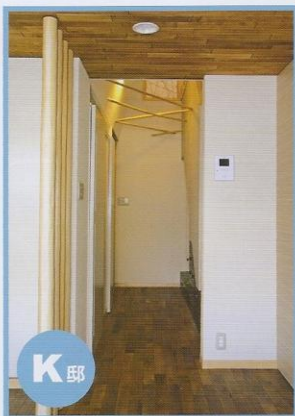




2009年5月24日(日)放送の人気リフォーム番組

# 「大改造!!劇的ビフォーアフター」で アイシネンが紹介されました!



アイシネン施工後の様子



寒さ対策が一切されていない倉庫の家に  
アイシネンが暖かい家を実現。  
匠の長谷川涉さんに伺ってみました。

## 底冷えのする鉄骨の家に 断熱材アイシネンを採用。

今回、担当した物件は、築33年の3階建ての倉庫です。2階が息子さん家族の住居、2～3階にお父様の商売道具(金物)を収納するスペースが混在した家でした。広さはあるものの、物が溢れ、動線がごちゃごちゃで使いづらそうでした。そのとき奥さんは身重でしたし、これは大変だなと思いましたよ。



## 吹き付けの施工なら 広範囲でも短期間で完了。

アイシネンを採用したのは、発泡系断熱材の中でも高性能だからです。今回

長谷川 涉さん 雅空間の若き志士

は、工程の段取りやコスト面を考慮して、屋根と壁にアイシネンを吹いてあります。かなり広範囲でしたが、効率よく作業を進められたので、約1日半で吹き終わりましたね。床部分には別の断熱材と床暖房を入れて、寒さを遮断する工夫をしています。

倉庫部分と住居部分の動線を分けて快適性を向上しつつ、京都の町並みを意識したデザインや、随所に施主様の思い出の品を再利用するなど、自分らしいアイデアを組み込みながら、リフォームが完成したのは約4ヶ月後でした。大変お喜びいただけたようで、嬉しく思っています。

## これまでに匠が手がけた アイシネン事例

[長岡京の家(京都府)]  
[松が丘の家(滋賀県)]

知人からアイシネンを紹介されたのが、3～4年前です。今回のTV番組で扱ったリフォームは、アイシネンを採用し



素材をカットして使う断熱材とは違い、スプレー工法なので隙間ができません。

た3度目のケースでした。

他の事例は、2軒とも新築の木造住宅です。長岡京の家は高断熱仕様の住宅を目指していたこと、アイシネンの断熱性能が高いことから採用しました。アイシネンは、断熱材を吹くのと同時に気密性を高められるので、その点を評価しています。発泡ウレタンよりもコストは

高いけれど、その後の経年変化がしにくく、性能の持続力がある点が、僕はいいと思います。引き渡し後、施主様からは「夏は涼しいし、冬は暖かかった。快適や」とのご感想をいただきました。僕自身、アイシネンを使ってまだ3年なので、その性能はこれから自身でも確認していきたいと思っています。

■ '09年に「長期優良住宅法」が施行されるなど、住宅は寿命を伸ばす時代になってきています。イニシャルコストだけで判断しない考え方も移行しつつある。アイシネンはこれからの時代に合った製品ではないでしょうか。

### アイシネンにご興味のある施主様へ

アイシネンはコストに見合った性能を持つ断熱材だと思います。10年、20年と経過しても経年変化がない点が、一番の長所でしょう。高气密・高断熱の住宅にしたいなら、断熱と同時に気密化ができるアイシネンがいいと思います。

### アイシネンにご興味のある工務店様・設計事務所様へ

アイシネンのコストは少し高めですが、Q値(熱損失係数)が低く、施主様にご理解いただければ使うに値する製品だと思います。工務店様であれば、経年変化がなく、瑕疵などによるクレームも起きにくい点もおすすです。

## 「気持ちのいい空間づくり」のためにも これからもアイシネンを使っていきたい。



profile 長谷川ワタル建築研究所  
長谷川 涉さん

1968年9月京都生まれ。1991年3月、関西大学工学部建築学科を卒業し、同年、清水建築設計工房に入社。1995年1月(26歳)に一級建築士資格を取得する。2000年4月、清水建築設計工房を退職し、同5月、長谷川ワタル建築研究所(WHATS)を設立。

個人事務所を設立して今年で10年目を迎えました。手がける物件が住宅であれ店舗であれ、いつも「気持ちのいい空間にしたい」と考えています。「気持ちのよさ」には個人差がありますが、最適な温度や明るさなどの機能性がある程度ないと生まれませんので、これからも機会を見つけアイシネンを使っていきたいですね。

### ●お問い合わせ

### 編集/発行

キングラン・ハウエスト株式会社  
〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町1-7-12  
神田セントラルビル4F  
TEL:03-6206-0250  
FAX:03-5207-6780

「アイシネン」のこともっと詳しく知りたい方は  
<http://www.icynene.jp>